

第3回 牛久市廃棄物減量等推進審議会議事録

第3回		追番	頁
件名	第三回審議会 牛久市一般廃棄物（ごみ）処理基本 計画策定について	場所	牛久市役所保健センター2階研修室
		日時	令和2年8月25日(火) 10:00～11:20
出席者	学識経験者	小野委員(麗澤大学)、岡川委員(国立環境研究所)、岡田(和)委員(茨城県県南県民センター)、金沢委員(株そめや)	
	各種団体	小松原委員(うしく明日をひらく女性の会)、川谷委員(NPOエコライフ)	
	一般市民	橋本委員、柳井委員、野口委員、村尾委員、岡田委員	
	事務局	藤田部長、梶次長、木村課長、高野課長補佐、山田主査、佐藤主任、宮崎、加藤(株環境施設コンサルタント)	
1. 議事			
(1) 開会			
(2) 議題			
<ul style="list-style-type: none"> ・牛久市一般廃棄物（ごみ）処理基本計画第1章～3章の修正について ・前計画の検証・評価について ・アンケート結果について ・その他 			
(3) 閉会			
2. 会議資料			
<ul style="list-style-type: none"> ・資料1 第3回会議次第 ・資料2 牛久市廃棄物減量等推進審議会委員名簿（令和2年4月1日改正） ・資料3 牛久市一般廃棄物（ごみ）処理基本計画（案） ・資料4 現行のごみ処理計画(平成22年度から令和2年度)施策の検証・評価 A3版 ・資料5 アンケート用紙 ・資料6 アンケート集計結果 			
3. 詳細			
(1) 開会			
木村課長	（本審議会の開会を宣言。新型コロナウイルス感染症対策のため、審議時間を縮小して行う旨を説明。また、事務局及び今回出席のコンサルタントについて紹介。）		
(2) 出欠席報告			
木村課長	（安藤委員、藤田委員、宮本委員より欠席の連絡があった旨報告。）		
（議事進行を会長にお願いする。）			
(3) 議題			
<ul style="list-style-type: none"> ・牛久市一般廃棄物（ごみ）処理基本計画第1章～3章の修正について 			
高野補佐	（牛久市一般廃棄物（ごみ）処理基本計画第1章～3章の修正について説明。）		
小野会長	修正内容について、事前に頂いている委員からの意見に対する回答を事務局より説明願う。		
高野補佐	（委員からの意見に対する回答を説明。）		
小野会長	その他の意見等あるか。こちらの修正内容をもって基本計画に反映いただくということで、次の審議に移りたい。		
<ul style="list-style-type: none"> ・前計画の検証・評価について 			
山田主査	（計画の検証・評価について説明。）		

小野会長 事前に頂いている委員からの意見に対する回答を事務局より説明願う。

山田主査 (委員からの意見に対する回答を説明。)

小野会長 その他の意見等あるか。よろしければ、アンケート結果についての審議に移る。

・アンケート結果について

佐藤主任 (アンケート結果について説明。)

小野会長 事前に頂いている委員からの意見に対する回答を事務局より説明願う。

山田主査 (委員からの意見に対する回答を説明。)

小野会長 その他の意見等あるか。

橋本委員 アンケートには直接関係しないが、牛久市では電池の出し方についてどのように示しているか。

佐藤主任 乾電池は集積所での排出、ボタン電池及びリチウムイオン電池は回収ボックスでの回収を紹介している。

橋本委員 市の施設に回収ボックスがあるのか。

佐藤主任 市の施設にも設置しており、また、家電量販店などの店頭回収も紹介しているが、比較的新しい分別品目であり、分け方・出し方が市民に浸透していないと実感している。

小野会長 広報の強化の面でも対応を願う。その他の意見等あるか。

川谷委員 白色トレイの分け方について、資源物として出せるもの、色付きトレイのように出せないものの区分が分かりづらい。トレイはスーパー等でも店頭回収しているが、店舗の従業員も明確な分別の判断が出来ていない状況もみられた。資源物として回収されるのであれば、なるべく正しい方法で出したい。実物を展示するなど、こういったものが資源物に該当するか分かるような周知方法を検討してほしい。

小野会長 ここで結論が出る話ではないかと考えます。市では一つの問題として検討いただければと考えますが、回答できる内容はあるか。

佐藤主任 市では白色トレイのみ回収しているので、その点について広報を強化したいと考える。事業所への啓発も市で検討したいと考える。

川谷委員 今年はイベントでの啓発も難しいと考えるため、今後も含めて啓発方法を検討していただきたい。

小野会長 資源化の事項は経済性と情報発信の両方の観点が重要となるため、検討いただければと考える。

岡田委員 食品トレイで言えば、透明なプラスチックもエコショップでは回収しているところもある。市では可燃ごみとして区分されているため、そういったプラスチックを分別回収することはごみの減量化に直結する。クリーンセンターの状況にもよるが、検討していく必要があると考える。また、アンケートで廃食用油が可燃ごみとして出されているという結果が示されているが、生活の中で廃食用油がまとまった量出るとは難しいのが現状である。少量であっても回収してもらえる方法があるのか。

小野会長 現段階で回答できる内容はあるか。

佐藤主任 廃食用油については、回収を行っている行政区または市役所に持ってきていただければ対応可能である。かっぱ祭り・エコフェスタ等のイベントでは同内容の広報活動を行っている。

橋本委員 刈谷行政区の事例では、ペットボトルやびんなどの容器に入れて自治会館に持参すれば、廃食用油を回収している。また、集中回収が年5回あり、それ以外は自治会館の回収ボックスに出してもらっている。他の行政区では、数か所回収拠点を設けて、バイオディーゼル燃料の製造を行っている業者が回収している。

梶次長 市内の公共施設やカスミにも回収ボックスにも設けており、一般市民が出せるボックスは公共施設含め合計10か所設けている。その他22の行政区で回収を実施している。問合せについては環境政策課にしていきたい。

小野会長 油の問題は本来湖沼への流出を防ぐため、油は焼却処理されてきた時代があり、琵琶湖のような閉鎖水系の周辺において油の回収が始まった経緯があ

る。その流れにおいて、経済性・合理性等を考慮し第二段階としてどこまで期するかというご提案と認識して伺った。また、透明なプラスチックについての再資源化についても、長期的な視点で経済性においてその事業が継続できるかどうかを検討するため、一般市民が家庭で仕分けする段階の感覚とは少し異なることが考えられる。その観点を含めて、今後分かりやすい説明をしていただきたい。

・その他連絡事項等について

小野会長 本日用意した基本計画の案についての説明を了承いただいたということで、今後は第4章のごみ処理基本計画についての審議に入る。新型コロナウイルス感染症による不安定な状況であり、対応に制約が出てしまうため、第4章については事務局の方で案を作成し、事前に各委員に配布し、意見を頂戴した上で審議会を開催させていただきたい。事務局としてそのような対応で良いか。

木村課長 事務局としてはそのような進め方をさせていただきたいと考える。

木村課長 (次回審議会の日程について説明を行う。また、牛久市のゼロカーボンシティ表明と基本計画における対応について説明した。)

小野会長 では、本日の議題はこれで終了とする。

(4)閉会

以 上